

学習指導要領の趣旨理解と評価の在り方についての研修について 【案】

香南市教育委員会学校教育課

1 近年の研修会をめぐる現状

学習指導要領改訂時における改訂の趣旨等の周知については、改訂時に各教科等でそれぞれ説明会が開催され、各学校1名が代表として参加し、在籍校で伝達する方法がとられている。

しかし、それ以後の改訂に関する情報は、各自治体で実施している市教研のような研究団体の研修会や各学校での校内研修会に講師を招いて研修する以外にほとんど得る機会がない状態である。

そして、近年本市をはじめいくつかの自治体で、市教研のような研究団体の維持が困難になり、消滅している現状がある。そこで、学習指導要領の趣旨等、またそれに伴う学習評価の在り方についての理解や周知は、各学校の校内研修等に任さざるを得ない状況になってきている。

現在、本市では所管する学校に対して、高知県教育委員会事務局小中学校課が所管となって実施している「授業づくり講座」「中学校組織力向上のための実践研究事業」等の研修会や高知県教育センターが主催する研修会等への積極的な参加についての働きかけや校内研修の充実に向けての支援を行っているところである。それらの研修会で十分研修できている教科等もある一方で、学校間の差や研修内容の偏りが認められ、特に法定研修の網にかからない教員は、個々に自主的な研修で補うしかないという現状もある。多忙を極める職場においても、多くの教員が学習指導要領の趣旨に基づいて、よりよい授業や評価を目指して奮闘していることと思うが、教育行政機関として最も大切な学習指導要領の理解について手立てを講じることができれば、よりよい教育への確かな足がかりになるのではないかと考える。

本市の全ての教員が、学習指導要領の趣旨に基づく指導を均質的に行えるよう、上述した研修会等では十分に学びきれない各教科等を中心に、本市が主催して研修の場を保証していきたいが、本市の体制だけでは専門的な指導支援が困難であるため、関係機関のご協力を得ながら、以下の内容で研修・研修会を実施したいと考えるところである。

なお、もし本市と同じ懸念を抱いている県内他市町村があれば、共同で実施するなど実施体制の拡張は可能であると考えており、本研修会が実現する運びとなれば、県内他市町村にも提案、共有しながら広域的に進めていきたいとも考えている。

2 学習指導要領の趣旨理解に関する研修会計画案

- 第3段階の研修方法を提案する。第1段階から第3段階の研修内容をすべて受講することが望ましいが、各自の実情に応じて可能な研修を行う。

	内容	研修形態	時間 【内容・キーワード例】
第1段階	○学習指導要領の改訂の概要把握 ・文部科学省による解説動画を視聴し改訂の趣旨、その背景、考え方等を学ぶ。	オンデマンド による自主研 修	20分×3講座程度 【カリキュラムマネジメント】 【主体的・対話的で深い学び】 【学習指導要領】

第2段階	○各教科等の学習指導要領改訂のポイント把握 ・文部科学省、各都道府県（例：佐賀県）の解説動画を視聴し、各教科等の改訂のポイントや指導上の留意点等を学ぶ。	オンデマンドによる自主研修	15～20分程度 【改訂のポイント】 【指導上の留意点】 【学習評価】
第3段階	○高知県の指導主事による各教科等の改訂や評価の在り方についての解説とQ&A ・特定の期日時間帯（例：水曜日 16:00～16:30）に各教科等の担当指導主事がライブで解説を行い、その後視聴者とQ&Aを行う。	オンラインによる研修会 （自主参加） （録画が可能であればオンデマンドも可）	30分程度

○ 教育センターにご協力をお願いしたい事項

- ① 音楽、図画工作、美術、技術・家庭のような技能教科から研修会（第3段階）を開始したいと考えている。担当指導主事には、研修会の講師として、上述の内容でご指導をお願いしたい。
- ② 研修会（第3段階）は、オンライン形式、又はオンデマンド形式を検討している。映像の配信・録画にご協力をお願いしたい。
- ③ 研修会（第3段階）の実施回数は、可能であれば、複数回の実施日を設定したいと考えている。複数回の実施に対する担当指導主事への派遣のご配慮、または録画の複数再生に対するご了承をお願いしたい。
- ④ 本市としては、最大限参加を呼び掛けることとするが、研修会（第3段階）は、あくまで自主参加であることに対するご理解をお願いしたい。

○ 備考【研修・研修会実施の波及効果】

- ・ 異校種の同教科の研修を受けることは、小・中学校間の連携を強化する意味において大きい。特に今後小学校に専科教員が配置されることを鑑みるとなおさらであると考えている。
- ・ 学習指導要領の改訂の趣旨、総則等の理解は、教科横断的な視点に基づいて今後求められる学習指導の方向性等を理解できるという点において大変有効である。特に中学校において、教科横断的な視点を踏まえたカリキュラムマネジメントを実施する際には有効であると考えている。
- ・ 県全体に配信できれば、理想的であると考えている。効率的に多くの自治体や学校が利用可能となる。県全体で難しければ、近隣エリアで声を掛け合うことも考えられる。